

「製造・物流」「医療・介護」「無人飛行ロボット」の3分野において、各ワーキンググループを中心とした**開発者と利用者の協働体制の構築**をベースに、**研究開発と実証の支援、利用者創出と情報発信、人材育成**までの一貫した支援を行う

ロボットの研究開発や生産の拠点を形成し、**新技術・新製品を創出していくことにより、世界に誇れるロボット産業拠点を形成**する

2022年度の実績（数値は2月末現在）

2023年度の計画（左：見直し方針、右：計画内容（見直し部分太字））

横断的取組

- ▷ 委員会・総会と3分野のワーキンググループ(WG)の開催
- ▷ 「知の拠点あいち」重点研究プロジェクトⅣ期〔新規〕
産学行政が連携する研究開発プロジェクト。ロボット関連で5研究テーマが採択
- ▷ 新あいち創造研究開発補助金
企業等が行う研究開発・実証実験を支援。ロボット関連で9件が採択
- ▷ 展示会「名古屋ロボテックス」等への出展
- ▷ ロボカップジュニア・ジャパンオープンの開催〔新規〕

新技術・新製品の創出のためには、開発側と利用側が継続的に情報交換し、企業間の連携や、協働プロジェクトの組成につながる場が必要。

従来のワーキンググループに加え、業界や企業が抱える課題をテーマに、継続的な議論を交わす「サブワーキンググループ」を新設。

- ▷ 委員会・総会と3分野のワーキンググループの開催
- ▶ **サブワーキンググループの設置・運営〔新規〕**
- ▷ 「知の拠点あいち」重点研究プロジェクトⅣ期
- ▷ 新あいち創造研究開発補助金
- ▷ ロボカップジュニア・ジャパンオープンの開催

分野の取組

うち業務用サービスロボット分野

- ▷ 製造・物流等分野ロボット導入実証WGの開催
「協働ロボット」や「工場内物流の自動化」をテーマに、事例紹介や施設見学を実施。
- ▷ 産業用ロボット導入支援研修会 9日間、中小企業20社参加
- ▷ 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会の開催〔新規〕
2021年のロボット国際大会のレガシーとして初開催。県内外より10の工科高校が参加。ロボットシステムインテグレータ(SIer)企業等のサポートを受けながら、ロボットシステムを構築
- ▷ サービスロボットの社会実装推進
イオンモール常滑、豊田スタジアムなど県内4施設で、現場の用途に即した実証実験と一般向けデモンストレーションを実施。計23機が参加
- ▷ 安全技術開発の支援 「リスクアセスメントセミナー」14名参加

食品製造業や協働ロボットなど、今後の市場拡大が期待できる用途・製品はあるものの、導入に至らない課題がある。

県内ロボットメーカーやSIer企業が、ユーザーから課題を収集できる場を設け、食品製造業におけるロボットシステム導入モデルの構築や、協働ロボットの製品開発・改良などにつなげる。

- ▷ 製造・物流等分野ロボット導入実証WGの開催
- ▶ **サブワーキンググループの設置・運営〔新規・再掲〕**
「食品製造業におけるロボット導入モデルの検討」「協働ロボットの活用に課題を抱えるユーザーの意見交換」など4テーマ
- ▶ **産業用ロボット導入支援研修会の実施**
経営者向けコースなどを拡充
- ▷ 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会の開催
- ▷ サービスロボットの社会実装推進
- ▷ 安全技術開発の支援

分野の取組

- ▷ 医療・介護等分野ロボット実用化WGの開催
「排泄支援」や「コミュニケーション」をテーマに、先進事例やユーザーニーズを紹介
- ▷ あいちサービスロボット実用化支援センターの運営
国立長寿医療研究センターの新棟開設に伴い、移設・リニューアル相談件数56件、見学者181名、実演展示16機種
- ▷ 介護ロボット出張デモ ハローワーク主催「介護就職相談会」でデモ16件
- ▷ 介護・リハビリ支援ロボットの活用促進
専門家による開発側と利用側双方の相談対応。マッチング支援9件、課題解決支援2件
- ▷ 安全技術開発の支援（再掲）

投資対効果等の課題により施設へのロボット導入は途上。効果の見える化、使いやすさの向上、機器間連携（システム化）などが求められている。

協力施設や関係機関との連携を深め、ロボットの活用を促進する。
さらに、企業間連携等の支援に力を入れ、製品・ソリューションの高付加価値化を目指す。

- ▷ 医療・介護等分野ロボット実用化WGの開催
- ▷ **あいちサービスロボット実用化支援センターの運営**
国立長寿医療研究センター健康長寿支援ロボットセンターとの連携強化
- ▷ 介護ロボット出張デモ
- ▶ **介護・リハビリ支援ロボットの活用促進**
これまで培った開発側・利用側の協働体制やニーズ・シーズの蓄積を生かして、現場でのロボット活用と製品・ソリューションの高付加価値化を両輪で支援。
- ▷ 安全技術開発の支援

分野の取組

- ▷ 無人飛行ロボット活用WGの開催
ドローン実証実験の報告や、先進事例、国等の取組について情報提供
- ▷ ドローン等の実証実験場の提供
名古屋港南5区9社90回、矢作川浄化センター4社12回
- ▷ 無人飛行ロボットの活用促進
「防災・災害対応」をテーマに、県内企業の技術を生かした実証実験を通じ、ビジネスモデルを作成。件数：2モデル

「レベル4飛行」が解禁されたものの、社会実装の拡大には、更なる技術開発や周辺機器との連携、人材育成など解決すべき課題が残る。

実装に向けた課題を明らかにするとともに、必要な技術開発を実証実験により支援する。
併せて、人材育成講座の実施と、ドローンエンジニア人材の育成手法の検討に取り組む。

- ▷ 無人飛行ロボット活用WGの開催
- ▶ **サブワーキンググループの設置・運営〔新規・再掲〕**
「ドローンエンジニア人材の育成手法の検討」
- ▷ ドローン等の実証実験場の提供
- ▶ **無人飛行ロボットの活用促進**
「レベル4飛行を用いた新ビジネスの実現」に向けた課題抽出・実証実験の実施と、それを通じたビジネスモデルの創出。併せて、これまでの事業成果の横展開に必要な人材育成講座の開設。